90793-53098 90793-53098-M00



ウインドシールド (ミラーマウント) 取付 · 取扱説明書

適応機種 MAJESTY S(XC155)

はじめに

工数:0.4h

ひお客様へ

お買い上げ誠にありがとうございます。

本書には商品の正しい組付方法と注意事項について説明してあります。商品を正しくお使いいただくために、ご使用前に必ず本書 をよくお読みいただき、ご不明な点は販売店にお問い合わせください。

本製品は、オートバイに関する整備上の一般的な知識および技能を有する方(販売店、整備業者)が組み付けることを前提として おります。それ以外の方が組み付けを行うと知識不足、技能不足のため、トラブル、機械破損などの原因となることがありますの で、販売店に組み付けを依頼してください。本書は、お車の取扱説明書および本品の取付に際して取り外した部品と一緒に保管し てください。お車を譲られるときは、この説明書もお渡しください。

▶販売店様へ

本製品の商品説明および取り扱い上の注意点を、お客様に充分ご説明いただくようお願い申し上げます。

本書および本品の取付に際して取り外した部品は、必ずお客様にお渡しください。

本書では正しい組み付け、取り扱いに関する事項を下記のシンボルマークで表示しています。

⚠ 警告 取扱いを誤った場合、死亡または重傷及び傷害に至る可能性が想定される場合を示してあります。

取扱いを誤った場合、物的損害の発生が想定される場合を示してあります。

燼

要 **点** 正しい取扱方法や、作業上のポイントを示してあります。

ヤマハサービスマニュアルを参照してください。

			1177	1-20	마	ПП		
No.	品	名	部品	番 号	数	量	備	考
1	スクリーン					1		
2	ステーL					1		
3	ステーR					1		
4	トラススクリュー				4	4	M5 × 20mm	
(5)	ワッシャー		90202	2-05123	4	4	12 × 5.5 × 0.8	
6	ウェルナット		90179	-05003	4	4		

邬

묘

部品番号欄が空欄のものは、補修部品の設定はありません。

キット以外の部品は、スタンダード車の部品を再使用します。

▲ 警告

平坦な場所で車両が倒れないように固定してから作業を始めてください。

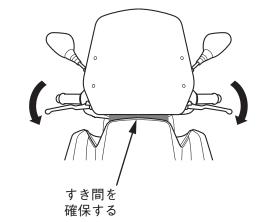
- 1.スタンダード車のアジャスティングボルトを緩め、左右ミラーを取り外します。この時、ナット®は緩めないようにします。CD
- 2.ウェルナット⑥をステーL②・R③にはめ込みます。
- 3.ステーL②・R③を左右ミラーのアジャスティングボルトで車両に仮組みします。
- 4.スクリーン①をトラススクリュー④とワッシャー⑤でステーL②・R③に組み付けます。

注意

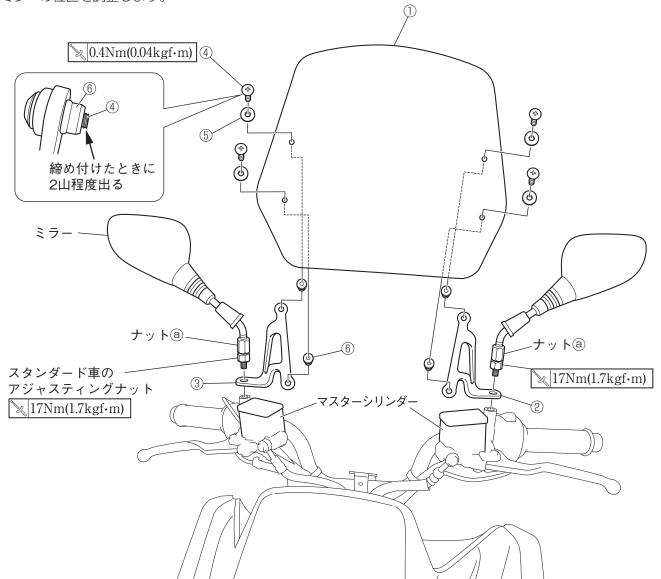
- トラススクリュー④はO.4Nm(O.O4kgf・m)で締め付けてください(ウェルナット⑥後部よりネジ山が2山程度出るくらい)。締めすぎると、スクリーンとステーが接触し、そのまま使用を続けた場合、スクリーンが破損する恐れがあります。
- ハンドルを左右に切ったときに、スクリーンとフロントカウルが接触 しないように位置を調整してください。(右図参照)

要点

マスターシリンダーの組付角度により、フロントカウルとのすき間調整が均等にできない場合があります。その場合は、サービスマニュアルを参考にマスターシリンダーの調整をしてください。 〇



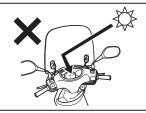
- 5. 仮組みしていたアジャスティングボルトを締め付けます。
- 6.左右ミラーの位置を調整します。



取扱上のご注意

注意

- ウインドシールドに直射日光が当たらないように駐車してください。ウインドシールドが凹面 鏡になり、反射集光した太陽光が発熱し、車両のカバーなどを変形させる恐れがあります。
- 直射日光が当たる場所に駐車する場合は、柔らかいタオルなどでウインドシールドをカバー して直射日光が当たらないようにしてください。



▲ 警告

- 組付後と走行前に、各部品に緩みやガタつきがないか確認し、定期的にスクリューの増締めをしてください。走行中に部品が緩んだり外れたりすると、思わぬ事故につながる恐れがあります。
- ヒビ割れしたウインドシールドは使用しないでください。そのまま使用すると、思わぬ事故につながる恐れがあります。

注意

- ウインドシールドの清掃は中性洗剤を使用し、柔らかい布かスポンジで水洗いしてください。ワックス類、ユニコンカークリーム、コンパウンド入りのクリーニング剤を使用すると、製品に傷が付く恐れがあります。
- ウインドシールドにガソリン、ブレーキオイル、アルコールなどの化学薬品を付けないように注意してください。ヒビ割れの原因となります。
- ・ウインドシールドを組み付けた車両は、日陰や風通しのよいところに駐車してください。車両にカバーをかぶせ高温下で放置すると、カバー内に熱がこもりウインドシールドが変形することがあります。
- ステーL②・R③組付部にETCアンテナブラケットなどを組み付けての併用は避けてください。ネジが充分に締まらなくなり、確実に固定できなくなります。

●商品に関するお問い合わせ

